

黒沢研究室 現地調査報告

5月27日に猪苗代町のアクアマリンいなわしろカワセミ水族館で、水生植物の展示に関する助言をしてきました。カワセミ水族館では、福島県内に生息する水生動物を展示しており、希少種から外来種まで福島県の環境・生態系の多様性を感じることができます。同様に、福島県内の多様な水生植物も展示されているのですが、解説板が無かったため、今後の作成に向けて、黒沢先生や首藤さん（D3）が助言を行いました。

雨が上がったのち、天鏡台ハイキングコース沿いの植物を調査しました。このハイキングコースは、夏に自然体験実習が行われる場所で、6月4日には、塘研の塘先生、川人君（M2）と遠藤がガイドをする予定で、その下見を兼ねての調査です。雨上がりの空気は心地良く調査にはピッタリでした。コース沿いでは、タニウツギやレンゲツツジ、フジ、コマユミなどの植物をよく目にしたほか、ミズナラとコナラの雑種と推定される個体や、希少な植物もいくつか確認できました。ハイキングコースの終点、国立磐梯青少年交流の家の敷地では、オキナグサ（環境省 RDBⅡ類、福島県 RDB 準絶滅危惧）、アズマギク、アヤメ、カワラナデシコ等が自生していました。これらの植物は、草地環境を代表するような植物で、草地環境の減少に伴ってあまり見られなくなった植物です。



調査の様子



ミズナラとコナラの雑種？



ピンク色の花がよく目立つタニウツギ



果期のオキナグサ